

## C協働学習 (C1)

### 主な学習活動

放送局の人々が「情報を集めるとき」「発信するとき」の方法や工夫等をまとめる。

### 1 本時のねらい

放送局の人々がどのように情報を集め発信しているかについて、まとめる活動や発表し合う活動を通して、情報の役割や影響に気づき、情報活用についての考えをまとめることができる。

### 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

授業支援

電子黒板

### 3 参考にしてほしいポイント

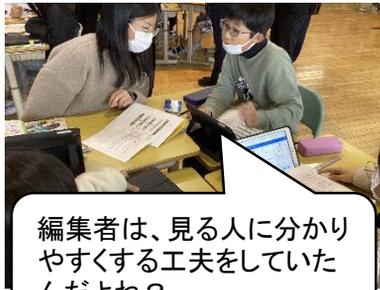
ロイロノート「共同編集モード」を用いて、教師が提示する課題シートに放送局の人々が情報収集・情報発信をする際の方法や工夫をまとめる活動、それを基に発表し合う活動を通して、単元の振り返りを行う。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	(1) 課題シートに「情報を集めるとき」「発信するとき」の方法や工夫等をまとめる。 (2) 学級全体で交流する。	(ロイロノート)「共同編集モード」を用いて、学習の振り返りを行う。まとめるときの視点「誰が」「どのような方法で」「どのような工夫」をして情報を集めたり、発信したりしているのか互いに確認する。 (電子黒板)課題シートにまとめる際の3つの視点に気を付けながら共有する。

タブレット

+

電子黒板



編集者は、見る人に分かりやすくする工夫をしていたんだよね？

編集長は、多くの人に影響することかを考え、伝えるべき順番を考えています。



### 4 活用効果

グループごとに共同編集しながら学習を振り返ったことや、事前に取り組んだワークシートも用いてグループ活動を進めたことにより、学習したことを再確認しながら情報活用について自分の考えをまとめることができた。

### 5 アドバイザーからのコメント

学習内容を理解する方法として、実際にやってみる、演示を見る、視聴覚機器で視聴する、言葉で理解するなどがあります。それは、抽象へ進むにつれて難しくなります。共同編集は、調べたことを再構成することなので、むしろ実際にやってみる活動に近いことが分かります。(東京工業大学 赤堀侃司)

児童が自ら考えをまとめられるようコンピテンシーの観点で検討を進めている点が、本実践において重要な点と考えます。児童が校内放送などで情報発信する際の状況に照らして考えると、自分事として捉えられるようになり、より実感を持った理解となることが期待されます。(福島大学 平中宏典)